

第14回 障害者政策研究全国集会開催要綱

テーマ：「障害者権利条約で変えよう社会を！法律を！」

日時：2008年12月13日（土）全体会 午後1時～午後4時45分（受付：12時より）

14日（日）各分科会 午前10時～午後4時30分（受付：9時より）

会場：13日（土）戸山サンライズ 大研修室

14日（日）戸山サンライズ

新宿区立障害者福祉センター（2階会議室）

参加費：3,000円（1日目から参加の方は戸山サンライズ2階、2日目から参加の方は、各会場の受付でお支払いをお願いします）

* お弁当（別途1,000円）をご希望の方は、申し込み用紙にてお申し込み下さい。

参加申し込み：申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXまたは郵便で事務局まで送付してください。

情報アクセス：手話通訳、文字筆記、点字資料をご希望の方は、申し込み用紙の記入欄にご記入下さい。

申し込み締め切り日：12月 1日（月）

主催：障害者政策研究集会実行委員会

構成団体：（順不同）全国自立生活センター協議会（JIL）/全国公的介護保障要求者組合/差別とたたかう共同体連合/全国「精神病」者集団/全国ピアサポートネットワーク/障害児を普通学校へ・全国連絡会/障害者の政治参加を進めるネットワーク/日本脳性マヒ者協会・全国青い芝の会/全国障害者介護保障協議会/自治労障害労働者全国連絡会/市民がつくる政策調査会/DPI日本会議

共催：新宿区障害者団体連絡協議会

事務局：障害者政策研究集会実行委員会・事務局 担当：上藺、福島

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル5階 DPI日本会議内（点字印刷ビギン）

TEL 03-5282-0015

FAX 03-5282-0017

Email fukushima@dpi-japan.org

<プログラム（概要）> *敬称略

13日（土）【全体会】13時00分～16時45分：戸山サンライズ 大研修室

◆開会あいさつ

報告①：障害者自立支援法の「3年後の見直し」をめぐる現状と課題 尾上浩二（DPI日本会議）

報告②：精神障害者の施策に関する検討会の概要を含めて 加藤真規子（こらーるたいとう）

◆シンポジウム

●テーマ「障害者権利条約の批准と障害者差別禁止法制定の課題」

《趣旨》 日本政府の権利条約批准に向けて来年は大きな山場を迎える中で、障害による差別をなくす法制化が条約批准の大きな課題になっている。国内的には、来年に障害者基本法の「5年後の見直し」が予定されている中で、権利条約の国内履行において、差別禁止法に求められている論点を当事者の視点から明らかにし、国会レベルでどのような議論が必要か、またはしていかなければならないかを議員との意見交換を通じて共有していきたい。

●「障害者市民案」（通称）の報告（要旨） —政策研「障害者差別禁止法」作業チーム

出席者：各政党の国会議員（依頼中） ・指定発言 政策研分科会担当者から

コメンテーター：東 俊裕（弁護士、権利条約特別委員会日本政府代表団アドバイザー）

進行：金 政玉（DPI障害者権利擁護センター所長）

14日（日）【各分科会】（午前：10：00～12：30 午後：13：30～16：30）

【自立支援分科会】会場：戸山サンライズ 大研修室

【午前】 自立支援法が施行されてから2年半の歳月が経過した。法に規定された3年後見直しに向けた作業が、社会保障審議会障害者部会で行われているが、利用者が求めている抜本的な見直しが図られるかどうかは疑わしい。自立支援法は障害者の生活に大きな影響をおよぼしている。サービス量の大幅引き下げや、ヘルパーの人材不足等が深刻な状況を生み出しているが、こうした厳しい状況を変えるための闘いを学び、新しい福祉サービスのあり方を考えていきたい。

●ミニ講演「自立支援法の課題と見直しのポイント」 尾上浩二（DPI日本会議）

●シンポジウム テーマ「自立支援法の影響への闘いの現状」

「サービス量の大幅引き下げの現実と闘い」 大谷真之（自立生活応援センター和歌山・チャレンジ）

「ヘルパー不足の改善をめざしての闘い」 渡邊琢（かりん燈・万人の所得保障をめざす介助者の会）

「移動支援の利用制限への闘い」 調整中

コメンテーター

尾上浩二（DPI日本会議）

司会進行

佐藤 聡（メインストリーム協会）

【午後】 介護制度が不十分なために、世の中からは「障害を持つことは不幸」と思われており、ALSなどの人工呼吸器利用者の尊厳死や筋ジスなどの胎児選別を推進しようとの動きがある。その問題について議論する。(上限なしの介護制度が確立している自治体での最重度障害者の地域生活の実態などの紹介も含めて)

パネラー 橋本 操 ALS/MNDさくら会 日本ALS協会
川口有美子 ALS/MNDさくら会 日本ALS協会
海野幸太郎 日本ALS協会
上野美佐穂 神経筋疾患ネットワーク CILくればす
石地かおる 神経筋疾患ネットワーク CILリングリング

【権利擁護分科会】会場：戸山サンライズ 大会議室

テーマ「障害当事者への虐待や差別の実態（裁判闘争）を知り、実効性の高い権利擁護の仕組みと差別禁止法制の展望を切り開こう！」

<趣旨> 「国連障害者の権利条約」や千葉県「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」から端を発し、自治体レベルでの障害のある人への権利条約づくりの検討が進む中、障害者に対する虐待防止と障害者差別禁止法の実現を目標にした自治体条例づくりを具体化するために、各地の報告をもとに課題を明らかにし戦略を議論する。

【午前】 テーマ 「なぜ、障害のある人は、人権侵害事件に巻き込まれてしまうのか」
～その原因を検証し、解決の戦略を検討しよう～

- ◆全国各地からの人権侵害事件報告/ 広島後見人裁判事件、札幌育成園事件刑事告発、札幌三丁目食堂事件 等
- ◆報告：厚生労働省「障害者虐待防止についての勉強会」から/
朝比奈ミカ（千葉県中核地域生活支援センターがじゅまる 07年度障害者虐待防止勉強会委員）
- ◆報告：障害者虐待防止法に関する国会の検討状況/ 金子恵美参議院議員（依頼中）
助言者：市川和彦（創造学園大学） コーディネーター：東 俊裕（熊本学園大学 弁護士）/安里芳樹（LADD）

【午後】 テーマ 「自治体条例をめぐる取り組みと課題」

- ◆報告：千葉県条例の施行後の現状と課題 横山 正博（千葉県障害福祉課障害者計画推進室室長）
- ◆報告：自治体条例づくりを進めている地域（北海道、宮城、岩手、愛知等）から
助言者：高梨 憲司（視覚障害者総合福祉センターちば・所長、千葉県条例調整委員会委員）
崔 榮繁（政策研「障害者差別禁止法」作業チーム）
コーディネーター：金 政玉（DPI障害者権利擁護センター）

【所得保障分科会】会場：戸山サンライズ 中会議室

【午前】 テーマ「生活保護制度の今とこれから」

この春には通院移送費が例外的な事例に該当する場合のみ支給する等制限された。また秋には、財政諮問会議が生活保護の有期限化への提言も行っている。今、生活保護の中で何が起きているかを検証し、これから当事者が何を取り組むべきかを参加者と話し合う。

発言者： 高浜敏之（こらーるたいとう）/ 益留俊樹（自立支援企画）
コメンテーター： 岡部 卓（首都大学教授）（予定）
司 会： 山本 創（DPI日本会議・難病をもつ人の地域自立生活を確立する会）

【午後】 テーマ「障害者の所得保障は何を求める」

障害者所得保障制度としての年金・手当のあり方、ならびに負担の問題等を検証しながら、今後何を求めて行く必要があるかということ、フロアーの参加者と共に討論していきたい。

発言者： 金子和夫（全国青い芝の会）/ 政党関係者
コメンテーター： 岡部耕典（リソースセンター・いなっふ）
司 会： 三澤 了（DPI日本会議）

【交通・まちづくり分科会】会場：新宿区立障害者福祉センター 第1,2,3会議室

2006年12月にバリアフリー新法が制定され、法の対象範囲が、交通関連事項から、建築・道路等の従来のハートビル法対象事項まで含むものとなった。午前は、はじめての住民提案による基本構想を作り、先駆的な取組の事例等の報告、また市町村に基本構想策定を促す新たに作られた「基本構想ガイドライン」について議論を行う。午後は、シンポジウムによる航空機やバス・電車利用拒否、レストランなど、店舗の入店拒否などそれぞれの体験を持つ人たちからの問題提起をもとに、障害者権利条約とバリアフリー新法との関係における「合理的配慮がされないこと」、「間接的差別」の実態を検証し、移動の権利について考えていく。

【午前】 ミニ講演「バリアフリー新法の基本構想策定ガイドライン」について

講師： 石井秀明（国土交通省 総合政策局安心生活政策課）

事例報告① 住民提案による基本構想策定過程 村山一人（土浦市障害者福祉団体連合会）（依頼中）

事例報告② 新宿区基本構想策定における障害当事者参画 今西正義（新宿区B F基本構想策定協議会委員）

助言者 石井秀明（国土交通省 総合政策局安心生活政策課）

【午後】 ミニ講演「障害者の権利条約」の移動権と合理的配慮について

講師： 東 俊裕（弁護士・権利条約特別委員会日本政府代表団アドバイザー）（予定）

シンポジウム 「レストラン等の入店の問題」 新井昭子

「飛行機利用における搭乗拒否」 吉井真寿美（依頼中）

「鉄道（新幹線）利用におけるハンドル型電動車いすの乗車拒否」 山名勝

「バスの乗車拒否」 山本理恵（依頼中）

助言者： 東 俊裕（予定）

【精神障害を持つ人々の分科会】会場：新宿区立障害者福祉センター 多目的室

テーマ「精神障害・知的障害がある人々が体験した差別・偏見とは何か・・・権利条約の批准、障害者差別禁止法制定の今こそ、私たちの声を、私たちの言葉であげていこう」

<趣旨> わが国の精神障害・知的障害がある人々の置かれた現状は、未だ隔離収容主義のもとで35万人もの人々が精神科病院に入院中です。障害者権利条約をテコにして、日本の法律を変え社会を変えていくために、そして障害者差別禁止法（案）をもっと精神障害・知的障害がある人々にとって使いやすいものにしていくために、もっともっと精神障害・知的障害がある人々は声や体験を社会へ伝えていこうではありませんか。また多くの人々に私たちの声や体験を受け止めてほしいと願います。今年の『精神障害がある人々の分科会』は参加者の人々と語り合い・聴き合うことを大切にしたいと考えています。

【午前】 シンポジウム 関口明彦（全国『精神病』者集団）

内田博文（九州大学大学院教授）

行政・研究者1名（交渉中）

司会：七瀬タロウ、八柳卓史

*フロアーの参加者の方々との活発な意見交換を希望しています。

【午後】 スピークアウト

ひとり5分以内で精神障害・知的障害がある人々が『体験や思いや希望』をスピークアウトします。

司会：赤畑淳、加藤真規子

*****スピークアウトしたい方を募集中です*****

希望される方はこら一たいとう（TEL：03-5819-3651、FAX：03-5819-3652、Eメール：koraru@mub.biglobe.ne.jp、住所：〒131-0033 東京都墨田区向島3-2-1 向島パークハイツ1階）まで、ご連絡下さい。精神障害・知的障害がある方、または精神科を利用されている方、生きづらさを感じている方、この方々の関係者・支援者の方等のご応募をお待ちしています。交通費、原稿等発表の仕方については相談に応じさせていただきます。

【教育分科会】会場：戸山サンライズ 2階特別会議室

障害者の権利条約は地域の普通学校へのアクセスを保障するインクルーシブ教育を原則に掲げている。条約批准を前に日本で進められている特別支援教育は、個別の支援計画の作成や交流・共同学習を強調しつつ、特別支援学校の再編増設という形となっておりますインクルーシブ教育から遠ざかりつつある。そんな中で文科省・厚労省双方は、障害児に対する早期からの相談体制を強化し、個別ニーズ論を強調して巧みな形で別学体制を維持する流れにある。福祉領域での障害児支援の方向とリンクしつつ固められようとしている特別支援教育に対して、ともに学びともに生きる教育の実践をどう進めていけばいいのか。参加者で議論できる分科会にしたい。

【午前】 実践と動向報告 「就学前の健診・支援体制とインクルーシブ教育」

報告者：井上寿美（関西福祉大学教員）

【午後】 パネルディスカッション

「権利条約の批准に向けて、ともに学びともに生きる教育実践を広げよう！」

パネリスト：上田 哲郎（C I L豊中当事者スタッフ）／学校教員（関東圏内）／その他の実践報告

コーディネーター：姜 博久（D P I日本会議）

*指定発言1：D P I日本会議、指定発言2：条約批准インクルネット

【労働分科会】会場：戸山サンライズ調理実習室

テーマ「障害者自立支援法を中心に、今、労働をめぐる課題を明らかにする」

【午前】テーマ「障害者自立支援法と障害者権利条約によって労働現場はどう変わる」

障害者自立支援法によって新たに生まれた就労関連3事業、その現状はどうなっているか。「福祉から雇用へ」「工賃倍増」というねらいは実現するのか。また障害者権利条約批准にあたっての労働における合理的配慮はどう具体化されていくのか。

発題者（予定）厚生労働省、就労事業の現場等からの報告

【午後】テーマ「労働における障害者自立支援法見直しの方向を探る」

現在、障害者自立支援法3年の見直し作業が社保審ですすめられている。残念ながら労働をめぐる何らかの見直しがあるとは思えない。そこに発言している団体を中心に見直しの課題を考える。

発題者（予定）障害者就労関連団体等のシンポジウム

【会場案内図】戸山サンライズ・新宿区障害者福祉センター



- 都バス: JR 新大久保駅・橋 63<新橋行>国立国際医療センター下車 徒歩3分
- " JR 新宿駅西口・宿 74<東京女子医大行>(大久保通り経由) " "
- 地下鉄東西線・早稲田駅下車 徒歩8分
- 地下鉄大江戸線・若松河田駅下車 徒歩6分

注意:車の場合は現地に駐車場がありませんので、近くで駐車場を探すか、極力、電車、バスをご利用ください。

戸山サンライズ：〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1

TEL：03-3204-3611 FAX：03-3232-3621

新宿区立障害者センター：〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-2

TEL：03-3232-3711 FAX：03-3232-3344